

●六北タイムの成果

本校では、毎日12時10分から12時20分を「六北タイム（英語活動）」の時間としています。児童は、DVDを視聴し、流れてくる英語を聞き、アルファベットや単語、文章を声に出して話しています。学級担任は、児童が楽しみながら六北タイムを行えるよう、児童の実態に合わせて、身振り手振りを促したり、難しい部分を繰り返し練習する時間をもったりするなどの工夫をしています。

子供たちは、六北タイムを楽しみにしており、六北タイムで耳にした単語や英語の曲を口ずさむ姿が見られました。保護者からも、「六北タイムの始まりの曲を家でも歌っています」という話をいただくなど、六北タイムの成果が感じられます。

また、本校では、六北タイムを発展させ、特別活動の時間に英語の学習を行っています。

ここでは、チーム学習（本校では、「よつば学習」と呼ぶ）を取り入れた4年生の学習の様子を紹介します。

学習課題 オリジナルパフェを作って、紹介しよう。

<見通しタイム>

- ・ Oral Interactive Introduction を通して、本時の学習課題を把握する。

<よつばタイム>

- ・ 会話例の発音練習をする。

What do you want? I want peaches, please.

How many? Two please.

- ・ 店員とお客に分かれて欲しい材料を尋ねたり要求したりする。
- ・ チームで作ったパフェを示しながら紹介し合う。

<ふりかえりタイム>

- ・ 本時を通して、成長したところを振り返る。

